

# 全国学力・学習状況調査について

今年度4月22日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が8月25日に公表されました。本校の結果をお知らせします。

	国語A：主として知識	国語B：主として活用	算数A：主として知識	算数B：主として活用
全国平均	72.9	55.5	78.1	58.2
東京都公立校平均	75.5	57.2	79.4	61.2
本校6年平均	<u>79.9</u>	<u>62.9</u>	<u>81.2</u>	<u>67.9</u>

## 平成26年度 6年全国学力・学習状況調査 各教科平均正答率の比較(%)

国語全体では、都や全国の平均を上回りました。しかし、児童の解答を見ますと、『言語についての知識・理解・技能』においては「故事成語の意味と使い方の理解」が、『書く能力』においては「分かったことや考えたことなどを整理し、それらを関連付けながら書くこと」に課題があることが分かりました。本校は、今年度東京都教育委員会より「言語能力向上拠点校」の指定を受け、「社会生活に役立つ言葉を育み、言葉による発信力を高めること」「言語文化を重視し、美しい日本語を身に付けていくこと」を目指し、教職員一体となって研究を進めているところです。課題を踏まえ、日常の学校生活の中で、伝統的な言語文化に親しむ機会の設定・物事を関連付けながら書いたり、意見を述べ合ったりする指導の充実・日常的な言葉の学習と活用など、表現力を高めたり言語生活を豊かにしたりする指導の充実をより一層図っていきます。

算数全体においても、都や全国の平均を上回っています。しかし、児童の解答を見ますと、『数量や図形についての知識・理解』の観点に関する問題で誤答が目立ちました。課題を踏まえ、習熟度別算数少人数授業を充実させ、個に応じたきめ細かい指導を継続して行っています。さらに問題解決的な学習を積極的に取り入れた授業を行い、児童の主体的な学びを通じた知識・理解の定着を図っていきます。また、ぐんぐんタイムや授業の中で演習に取り組む時間をさらに増やし、学習内容の基礎基本をさらに定着させていきます。

児童質問紙からは、学習の楽しさや大切さを感じている児童が多く、学習習慣が概ね身に付いていることが分かりました。一方で「一日の読書時間や図書館の利用」「読書は好きか」の項目では、都・全国平均を下回っていることが分かりました。学校図書館の利用する機会を増やしたり、読書旬間を活用したりすることで本に親しむ機会を増やしていくとともに、本を通じた言葉の習得・活用を目指します。

現在、調査結果を基に、各教科における授業改善のためのプランを作成しています。10月末を目途に学力向上を図るための全体計画をHPでアップしますのでご覧ください。それに基づいた授業を実施し、学校一体となって児童の学力向上に努めていきます。